

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<u>修士課程</u> 博士後期課程
専攻 / Major	<u>真宗学</u> 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<u>一般(秋季)</u> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<u>専門</u> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>本学人文学研究科のアドミッションポリシーをふまえ、以下の3点を確認する意図で出題した。①真宗学に関する基礎知識と文献読解力を有しているか。 ②真宗学のテキストをふまえた考察力を有しているか。 ③修士論文執筆に必要となる読解力と表現力を有しているか。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>専門Ⅰ 問題一は「次の文を読んで、親鸞の救済観について述べよ。」という設問で、『教行信証』「証巻」の冒頭の文を掲げた（『定本教行信証』親鸞聖人全集刊行会、法蔵館刊による。なお漢文は返り点のみを示した）。親鸞は本願による救済を「正定聚（往生）」と「必至滅度（成仏）」という2点の内容によって示している。この両者の関係の基本的了解をふまえて論述する必要がある。</p> <p>専門Ⅰ 問題二は「次の文を読んで、親鸞の本願観について述べよ。」という設問で、『歎異抄』第一条の全文を掲げた（『真宗聖典第二版』聖教編纂室編、東本願寺出版刊による）。『無量寿経』第十八願の内容をふまえ、本願が救済の対象とする存在、本願による救済の具体性について、親鸞がどのように表現しているかという点をふまえて論述する必要がある。</p> <p>専門Ⅱ 「次に掲げる文を、（イ）まず書き下し文に改め、（ロ）次にその意味内容について詳しく述べよ」という設問で以下の二文を出題した。</p>	

(一) 『教行信証』「行巻」の「正信念仏偈」偈前の文（『定本教行信証』親鸞聖人全集刊行会、法蔵館刊による。なお漢文は返り点のみを示した）。親鸞は「正信念仏偈」を釈尊の教言と七高僧の著作をふまえて作ることを明確にしている。論述にあたっては、「正信念仏偈」に関する基礎的知識を持つ必要がある。

(二) 「正信念仏偈」依釈段の源信に関わる文である（『定本教行信証』親鸞聖人全集刊行会、法蔵館刊による。なお漢文は白文）。『観無量寿経』「念仏衆生撰取不捨」、源信『往生要集』をふまえた文であり、その内容を親鸞がどう表しているのかを論述する必要がある。

〈採点のポイント〉

真宗学を専攻するにあたって、『教行信証』・『歎異抄』の基本テキストの本文によって、基本的な知識をふまえて、内容を理解し、それを適切に表現することができているか。

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 <b>仏教学</b> 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>修士課程において仏教学研究に取り組むために必要な基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>専門 I には問題 1 と問題 2 を設けている。ともに基本的な仏教用語の意味説明を求めるものである。専門 II は仏典（現代語訳）を示した上で、その内容を要約するとともに、そこに出てくる仏教用語の意味を問うものである。</p> <p>いずれの問題も、仏教の基本的思想を正しく理解できているかどうか、自身の研究に結びつけて論理的に説明できているかどうかを採点のポイントとしている。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 <b>哲学</b> 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、修士課程で学んでゆくために必要な哲学に関する基礎的能力を有しているかを確認する意図で出題した。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>出題内容は以下の通りである。専門Ⅰの問題1において、「形相と質料」「モノド」といった簡単な語句群のなかから2つを選んで説明することを求めた。問題2では、Simon Blackburnの<i>Think</i>からの英語文について部分和訳を求めた(辞書参照可能)。専門Ⅱの問題では、大森荘蔵の『思考と論理』からの日本語文について、全体の論旨をまとめること、指示した下線部について自身の考えを述べることを求めた。</p> <p>採点のポイントは以下の通りである。①哲学に関する基礎的事項を適切に説明できているか。②哲学に関する基礎的文章を正確に読解できているか。③自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 <b>仏教文化</b> 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門(共通)</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>歴史・文学それぞれの専門分野と仏教をはじめとする宗教との関係を理解できているかを問う。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>日本の歴史・文学、中国の歴史・文学、西洋の歴史の中から各自の専門分野と、仏教をはじめとする宗教との関係について説明させる。専門分野の知識が修得できており、それと宗教の関係が説明できているかが問われる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 <b>仏教文化</b> 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門(日本文化日本史)</b> 外国語 日本語 小論文
<b>出題意図／解答又は解答例</b> <b>Intent of the question / Answer or example of answer</b>  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり <b>(Reasons for not publishing exam questions)</b>	
<b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b> 教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解) (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
<b>【出題の意図】</b> 出題意図は、各時代ともに概ね次の通りである。各時代の基本的な史料を、文中の用語の意味を正確に理解した上で訓読および現代語訳する力、史料に関連する時代の状況等についての知識の他、各時代の基礎的な歴史用語についての知識の有無を確認することである。  <b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b> 日本史（古代）は『続日本紀』神護景雲三年（769）九月己丑条・宝亀三年（772）四月丁巳条、日本史（中世）は『玉葉』文治元年（1185）十月・十一月条の一部、日本史（近世）は『御触書寛保集成』の享保改革の一つとして実施された施策を述べた部分、日本史（近代）は『文明論之概略』卷之三「台六章 智徳の弁」の宗教について述べた部分を、それぞれ出題した。史料の漢文訓読や現代日本語訳、用語の読みや意味などが問われる問題では、歴史用語の意味に関する基礎的な知識、および漢文訓読に関しての基礎的な知識、現代日本語を的確に表記する能力が求められる。また、出題史料の内容を踏まえ、史料が成立した時代における関連が問われる問題では、専門的な研究を進める上で不可欠な、研究対象とする時代の状況に関する研究状況を含む基礎的な知識、およびこれを的確に要約し表現する能力が求められる。	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 <b>仏教文化</b> 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門(日本文化日本文学関係)</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b> 教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解) (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
<b>【出題の意図】</b> 古語や文法を理解し正確に古典作品を読解する能力を問う。 併せて、作品が書かれた時代背景や文学史についての知識を確認する。  <b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b> 『宇治拾遺物語』一七二話を出題した。語句の意味、現代語訳、登場人物の言葉の思想的背景、要旨をまとめた上での自分の考え、中世文学についての知識が問われる。正確に文章を読解すると同時に、文章が書かれた時代的な背景を理解していることが求められる。	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 <b>仏教文化</b> 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門(中国文化関係中国文)</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>漢文文献の読解能力を問う。</p> <p>中国の歴史・文学・思想などの基礎的な知識を問う。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>秋季は『李太白文集』より李白に依頼され書かれた李陽冰の「草堂集序」から出題。李白の簡単な伝記を読み、書き下し文や現代語訳を作成させる。さらに文章に関連する事項として、中国の士人と儒教・道教・仏教の関係についての知識を記述させる。</p>	

年度 / AY	2025
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	修士課程 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	一般(秋季) 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	専門(西洋文化西洋史関係) 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b> 教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解) (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
<b>【出題の意図】</b> 一般入試（春季）参照  <b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b> 一般入試（春季）参照	

年度 / AY	-
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 <b>国際文化</b> 教育・心理学 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b> 教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。 (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解) (AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断) (AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲) (AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)	
<b>【出題の意図】</b> 一般入試（春季）参照  <b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b> 一般入試（春季）参照	

年度 / AY	2023
研究科 / Graduate School	人文学研究科
課程 / Program	<b>修士課程</b> 博士後期課程
専攻 / Major	真宗学 仏教学 哲学 仏教文化 国際文化 <b>教育・心理学</b> 全専攻共通
入試方式 / Admission Method	<b>一般(秋季)</b> 一般(春季) 留学生入試 社会人
試験科目 / Exam Subject	<b>専門</b> 外国語 日本語 小論文
出題意図／解答又は解答例 Intent of the question / Answer or example of answer  著作物の権利等の理由により掲載していない試験問題等 ➡ 該当あり (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー AP）】</b></p> <p>教育目標を達成するために、大学院修士課程で求めているのは、次のような人である。</p> <p>(AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。(知識・理解)</p> <p>(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。(思考・判断)</p> <p>(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。(関心・意欲)</p> <p>(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。(技能・表現)</p>	
<p><b>【出題の意図】</b></p> <p>本学人文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、教育学・心理学に関して基礎的な知識と理解を有しているかを評価する意図で出題した。</p> <p><b>【出題内容、解答・解答例、採点のポイント等】</b></p> <p>〈出題内容〉</p> <p>専門Ⅰ 次の問題1～2の中から一つを選び、論述しなさい。</p> <p>問題1 学校教育における「評価」について論じなさい。</p> <p>問題2 教員が身につけるべき能力としての「カウンセリングマインド」について論じなさい。</p> <p>専門Ⅱ 次の文章(デューイ『民主主義と教育』からの文章)を読んで、後の問題に答えなさい。</p> <p>問題1 本文を200字程度で要約しなさい。</p> <p>問題2 筆者の考え方に対するあなたの考えを述べなさい。</p> <p>〈採点のポイント〉</p> <p>教育学・心理学に関わる事項を適切に説明できているか。</p> <p>教育学・心理学に関わる文章を正確に読解できているか。</p> <p>自身の考えを論理的な文章で表現できているか。</p>	